



議会だより

ふなだ



No.177
31年/1

発行：山形県舟形町議会
平成31年1月25日

元気で楽しい年になるよう願いを込めたみずぎ団子

年頭のあいさつ.....	2 P
12月定例会概要・質疑応答.....	3 P
タブレット端末を導入.....	6 P
町政を問う 一般質問に4議員.....	7 P
議会報モニターより.....	12 P
議会活動.....	14 P
えがったなあ・町民の声・編集後記...	16 P



真剣に指導を受けている子どもたち

平成30年度 主な補正予算

- 空き家解体補助金の増…………… 650万円
(住宅5軒、小屋等付属建物3軒)
- 除雪機械購入費補助金の増…………… 100万円
(除雪機械10台)
- 高齢者先進安全自動車購入費補助金の増 60万円
(自動ブレーキ装着車への補助)
- 通院交通費扶助費の増…………… 300万円
(舟形診療所の一時休業に伴う通院交通費の補助)
- 中学校管理事業…………… 2530万円
(特別教室への冷房設備導入事業の増)
- 農業用施設災害復旧事業……………2559万円
- 公共土木施設災害復旧事業 2億7646万円
- その他災害関連…………… 907万円

12月定例会は、4日から6日までの会期で開催され、4人の一般質問に続き、一般会計・水道事業会計補正予算など、全議案を原案通り賛成多数で可決しました。

12月定例会
4日～6日

補正予算の大幅増

8月豪雨災害復旧

3億1112万円

主な審議された議案

12月定例会

- 平成30年度一般会計補正予算(第7号)
- 平成30年度水道事業会計補正予算(第2号)
- 町一般職の職員の給与に関する条例の一部改正
- 町特別職の職員の給与に関する条例の一部改正
- 舟形若あゆ温泉等の指定管理者の指定
(指定先 (株)舟形町振興公社)
- 農林漁業体験実習館等の指定管理者の指定
(指定先 東北エコリサイクルネットワーク研究会)



町議会議長 八 嶽 太

「年頭によせて」

明けましておめでとございます。

町民の皆様には、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は8月の二度にわたる豪雨が大きな被害をもたらし、今なお至る所に爪痕が残っております。

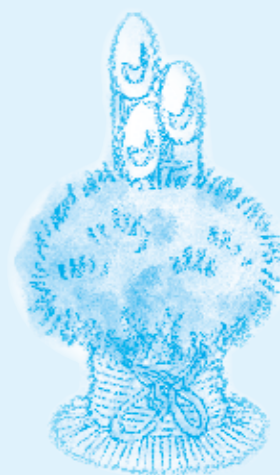
議会からも国や県をはじめ関係機関に対して要望を重ね、復旧への支援をお願いしたところであり、被災された皆様にご心よりお見舞いを申し上げますと共に一日も早い復旧を願っております。

さて、早いもので議会議員の4年間の任期も4月をもって改選となります。これまで議会議員の活動に対して特段のご指導、ご協力を頂き、円滑な議会運営ができましたことに心より感謝と御礼を申し上げます。

これまでも議会の活性化に努め、皆様から透明性と信頼性を得られるよう、議会基本条例の制定等、様々な議会改革に取り組みました。昨春秋には、情報化社会において皆様の声に迅速な対応と情報提供を図ると共に、事務の省力化とペーパーレス化を目指し、会議資料等の文書配布や議員間の諸連絡にタブレット端末を導入しました。今後とも円滑な活用の拡大を図り議会機能の強化、充実に努めて参ります。

平成の時代も終わり、5月から新しい元号がスタートします。地方の時代とはいっても地方経済の低迷と過疎化による地域格差は広がるばかりですが、人口減少社会においても、持続可能で効率的な行政運営と住民福祉の増進に向けて、町当局と連携して取り組んで参りますので、一層のご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、町民の皆様にとりまして本年が健やかで幸多い年でありますようご祈念申し上げ、新春のご挨拶とさせていただきます。



議長	八 嶽 太
副議長	叶内 富夫
議員	加藤 憲彦
議員	佐藤 広幸
議員	齋藤 好彦
議員	奥山 謙三
議員	佐藤 勇
議員	石山 和春
議員	小国 浩文
議員	伊藤 欽一
事務局長	斉藤 洋一
事務局	伊藤 優

質 答 応 疑

12月定例会

平成30年度一般会計補正予算

議員 教育寄付金30万円、災害復旧費寄付金81万1000円とあるが、その内容は。

財政係長 教育寄付金30万円については、東京都港区東麻布の(故)佐藤克己氏のご子息が、意志を受け継いで毎年寄付してくださっているものです。災害復旧費81万1000円については、今年8月に被災した際、各団体の方々からいただいた寄付金になります。



復旧工事が完了した町道舟形平沢長沢線

議員 除雪機械購入費補助金100万円補正の内容は。

まちづくり課長 当初予算に小型除雪機上限10万円16件、地域支え合い分上限20万円22件、合計200万円を計上していましたが、11月中で申し込みが当初予算額に達する見込みとなり、さらに5件の申し込みがあります。降雪期に向け5件分を見越して、10台分を補正するものです。

議員 診療所費のうち通院交通費補助3000万円の対象者や申請の方法、使用期間については、どのようにしているのか。

健康福祉課長 舟形診療所の一時閉鎖に伴い、別の医療機関に通うことになる65歳以上の交通弱者の方が対象です。申請の際には、舟形診療所に通っていたことがわかる診察券や医療費の領収書を提示していただき、1回1枚使用の500円のタクシー券を1人当たり12枚交付したいと考えています。使用期間は舟形診療所閉鎖期間の3月31日までを予定しています。詳しくは12月14日発行の広報お知らせ版で周知します。

議員 若あゆ温泉改修工事費減になった額が、備品購入費に変更したのはなぜか。

まちづくり課長 若あゆ温泉で会食する場合、これまでは座って会食していましたが、利用者の要望でテーブルでの会食を希望される声が多くあり、サービス向上につなげるために購入を予定するものです。

議員 空き家対策補助金が大幅増の補正予算となっているが、これまでの実績と今後の状況は。

危機管理室長 補助金交付決定は11件844万円で、当初予算で850万円確保していましたが、さらに5件の解体の申し込みがあったため、今回補正予算として650万円計上しました。26件の相談を受けており16件の解体が今年度で終了予定となり、残りについても引き続き相談しながら進めていきます。

議員 町営住宅管理事業198万円の内容は。

地域整備課長 町営住宅の退去時の修繕・子育て支援住宅のトイレ・西堀住宅のエアコン・木友団地の給排水等の修繕費です。

舟形若あゆ温泉等の指定管理者の指定

議員 若あゆ温泉センターハウス前にある「ふれあい広場」のステージを撤去したが、休憩や荷物を置けるような椅子やベンチを設置できないのか。

まちづくり課長 貴重なご意見でありますので、林務関係の補助事業などを活用し設置できないか検討します。



きめ細やかな除雪が期待される小型ロータリ

議員 町道除雪用小型ロータリ導入で、ロータリ幅が現行車両より30cm狭い作業機を導入したのはなぜか。

地域整備課長 平成23年度に導入した車両はオプション装備でロータリ幅が1.8mでしたが、今年導入した車両は前回導入したものより馬力がアップしたことで、標準装備である1.5mのロータリ幅とした性能もアップしているので、今まで通りの作業ができるものと考えています。



多目的広場の有効活用の検討

農林漁業体験実習館等の指定管理者の指定

議員 体験実習館の多目的広場一面とあるが、どの場所なのか。また、使用していないなら駐車場として整備してはどうか。

まちづくり課長 実習館前の道路下にあったテニスコートで、現在は使用していません。活用方法については今後の検討・課題とします。



あゆ漁が不能になったヤナ (一の関地内)

復旧工事後のヤナ

農業振興課長 8月30・31日の災害で町にあるヤナ施設4箇所のうち3箇所が対象となり、復旧のための県3分の1、町6分の1の補助事業です。

議員 ヤナ施設復旧に係る支援の内容は。

地域整備課長 公共施設整備については専門性が高いため、有資格者の監視を必要としますので、監理業務を依頼するための補正予算です。

議員 除雪格納庫整備事業の工事監理委託料70万田の中身は。

町政を問う

一般質問に4人が登壇

一般質問とは

定例会において、各議員が町民の代表として行財政全般にわたり町当局の考え方や疑問をたずねることです。単に疑問を晴らし事実関係を明らかにするだけでなく、現行政策の見直し、新規政策を提言する、議員の重要な活動です。

奥山 謙三 議員

8ページ

- 1 デマンド型乗合タクシーの利用状況と利用拡大方を問う
- 2 勤労者賃貸住宅建設（支援）事業の進捗状況は

齋藤 好彦 議員

10ページ

- 1 最上豪雨災害の復旧状況と今後は
- 2 ふるさと納税で地方創生を

小国 浩文 議員

9ページ

- 1 障害者雇用の町の対策は
- 2 B & G 体育館改修の考えは

伊藤 欽一 議員

11ページ

- 1 洪水被害の防止対策について



平成の主なできごと 東北中央道開通式典（平成11年舟形 IC）早期の全線開通を願う



開かれた議会を目指して タブレット端末を導入



- ### 導入の目的
- ① 議会運営及び議員活動の充実
 - ・ 議員と事務局間の情報共有や連絡、日程調整の迅速化
 - ・ 各資料を携帯し閲覧することができるため、町民に対する説明の迅速化
 - ② 議会及び会議のペーパーレス化
 - ・ 資料のデータ化による紙資源の経費と事務コストの削減

舟形町議会では、この度の12月定例会より、議会活動の効率的な運営と質の向上を図るため、タブレット端末を導入しました。

導入までの経過

- ・ 平成29年1月31日～2月1日
タブレットセミナー 宮城県仙台市
先進地視察研修 秋田県五城目町
(議会運営委員会)
- ・ 平成30年1月12日
先進地視察研修 秋田県横手市
(議会改革特別委員会
その他複数回の会議及び研修会)

導入後の経過

- ・ 平成30年11月27日・12月3日
タブレット研修会 舟形町役場
- ・ 平成30年12月定例会より本議会にて
タブレットを使用



今後の期待

議会及び議員活動の中で積極的にタブレットを活用し、町の施策等の情報を町民に伝えていくとともに、議会のペーパーレス化を図り、議会運営にかかる経費の節約を目指す。
タブレット端末で資料の確認を随時行うことができるので、情報の質、正確さ、量とも向上することが期待される。



議場においてタブレットの実践研修



奥山 謙三 議員

デマンド型乗合タクシーの利用状況と利用拡大方策を問う

積極的に利用していただけるよう周知に努める

質問 本年4月から新たな公共交通として、町内全域でデマンド型乗合タクシーが始まりました。開始8ヶ月が経過しましたが、これまでの地区別利用状況と運行してからの課題、今後の利用拡大に向けた方策を質問します。

町長 4月から10月までの町営バスとの比較では、制度が相違するため単純比較とはならないものの、町内便の利用者は月約100人デマンド乗合タクシーの利用者が少なく、町外便の利用者は昨年並みの利用状況となっています。これまでにいただいた利用者の声としては、

などとして周知に努めます。町民の皆様からは運行形態や予約制などの制度理解をいただき、デマンド乗合タクシーを多くの町民の方々に利用いただいで、この制度が町内に広がりを見せ増便や増台へとなるよう進めて参ります。

勤労者向賃貸住宅建設（支援）事業の進捗状況は
現段階では申請にないが、引き続き取り組みを促していきたい



皆様のご利用お待ちしております

取り組みを促していきたいと考えています。



星川タクシーさん、よろしくお願ひします

今後の利用拡大に向けて、利便性の向上、増便の検討など、運行業者と充分検討する必要があります。積極的に利用していただけるよう、改めて利用の手引きを配布する

質問 目的は民間資金を活用した賃貸共同住宅の整備を促進し、勤労者世帯の生活安定及び、定住人口の確保と増加を図るため、賃貸共同住宅を新築した者に対して補助金を交付する、とあります。

町長 開始してからわずしか経っていませんが、目的達成を早期に行うため急ぐ必要があると思いますが、これまでの進捗状況とこれからの方策は。

町長 現段階では申請が無い状況です。今後も引き続き様々な機会を捉えて関係者に当該事業への



小国 浩文 議員

障がい者雇用の町の対策は 早期の採用を検討



法定障がい者雇用を守らなければならない舟形町役場

質問 中央省庁の障がい者雇用増し問題で、弁護士らによる検証委員会は33行政機関にヒアリングを実施し、昨年6月時点で28行政機関が3700人を不適切に計上していたと認識しました。その様な中、舟形町においても法定障がい者雇用2.5%の義務付けに対して、どのような取り組みを行な

町長 障がい者雇用については、当町においてもガイドラインに沿って取り組んでいるところです。本町においての障がい者の雇用率は、平成24年度以降毎年度達成していた

ところですが、対象者が退職したため今年度は未達の状況となっています。このため、障がい者用のトイレやエレベーターがないなど、障がい者を受け入れるための職場環境の課題を踏まえながら、障がいの種類、程度に応じた業務内容を整理し、他の市町村の取り組みも参考にしながら、できるだけ早期の採用に向けて検討を進めていきたいと考えています。

B&G体育館改修の考えは

バリアフリー化を視野に入れ協議

質問 B&G体育館は、昭和56年に開所してから37年の長きにわたり、町民の方々が使用しています。今後、改修工事を行う場合は、町民が安心して利用できることはもちろんのことですが、障がい者スポーツが盛んになってきている今日、障がい者の方々の安全・安心に使用できるような



障がい者スポーツの拠点としてバリアフリー化を図れ！

の町民の方々や障がい者の方々からも安心・安全に利用いただけるよう、バリアフリー化も視野に入れ、財団と協議を進めながら、これまで以上に多くの方にご利用いただけるよう検討していきます。

町長 「B&G体育館改修の考えは」については、平成29年度に町単独予算により男女トイレの一部洋式化を実施し維持修繕を行いました。今後、現状を把握しながら、町民の健康増進とスポーツ施設の拠点として、多く



伊藤 欽一 議員

洪水被害の防止対策について

護岸未整備箇所^{しゅんせつ}の早期改修と浚渫を要望



3年振りの収穫を目前に被災した水田(松橋川堀内川合流地点 横山地区)

【質問】 今年の舟形町は積雪が3m超えの新記録、そして8月は二度にわたる豪雨により甚大な被害に見舞われ、数十年あるいは数百年に一度起こる程度の現象と言われる異常気象が、最近では当たり前になりつつあります。8月の大洪水では、人的被害が無かったことが幸いと安堵^{あんと}しています。今回の農地被害は全町

各地に及んでいます。堀内地区の一部では3年振りの収穫を目前に、洪水の被害に遭った農家もあると聞いています。今後、県との協議も必要であると思いますが、洪水被害を防止し、町民が安全安心に生活できるための河川整備を、どのようにしていくのか町長の考えを伺います。

【町長】 今回の災害は全町に及んでおり、その中で堀内地区の一部は、河川・町道・農地・農業用施設において平成28年度と同じ箇所が被災しており、平成29年度に復旧工事が完成してすぐに今回の災害に見舞われ、3年振りの収穫を前に被害に遭った農家もあります。県管理河川については、河川決壊による農地への土砂流出被害が幾度も発生している松橋川・堀内川合流部と最上小国川の長尾地区右岸については、通常の災害復旧事業による原形復旧だけでなく、抜本的な河川整備を実施するよう県に要望しています。また、河川の流下能力が低下している河川については堆積土砂の浚渫を要望していきます。町民が安全で安心して生活できる、災害に強い舟形町になるよう関係機関に要望活動をしていくとともに、災害復旧事業に全力で取り組んでいきたいと考えています。



濁流に呑み込まれた水田(JR陸羽東線小国川第二橋梁 長尾地区)



想定外の洪水に見舞われた町道内山長尾線と水田(内山地区)



降雪前に急がれる復旧作業(富田地区)

【質問】 50年に一度とも言われた、8月の豪雨災害の復旧作業も急ピッチで行われていますが、手つかずのままブルーシートで覆った状態も見受けられ、降雪期前に町民の方々からも不安の声が多くあります。本町における被災地の復旧状況と、国の災害査定による今後の対応策等について町長に伺います。

【町長】 復旧状況は公共土木施設、農地農業用施設とも国の査定は終了し、町の単独復旧は応急工事を含め92箇所の復旧を完了しました。町単独補助事業による農地等の災害復旧は197件、町補助事業による宅地復旧支援に5件の申請を受けています。町単独補助事業により実施する農地等の災害復旧は、関係者、土業者の皆様の努力により復旧が進捗していますが、補助災害同様、平成32年度春の作付けまでの完了を目指します。今後、県の災害復旧工事もかなりの数の発注が見込まれ、施工体制が厳しくなることも予想されますが、可能な限り早期の復旧を目指したいと考えています。

【町長】 町としては国の方針に沿って対応し、その中で「ふるさと納税をどの様に確保していくか」の取り組みとしては、例えば、農業振興に対する支援を目的に用途をより明確にしながら寄付を募集し、ふながた産米をアピールしていくというものです。具体的には、衛星を活用した「ふながた衛星米」の生産拡大に取り組み、商品化することを考えています。また、リピーターを大切にすることで、災害による被災者へのお見舞いに、サクランボやはえぬきなどと共に応援メッセージを送付するといった「絆^{きずな}」を大切にしたり取り組みや、東京友の会や都市交流事業の機会を通じて首都圏でのPRを図るなど、様々な機会を通じて周知を図り、地方創生のための財源の確保に努めていきたいと考えています。



斎藤 好彦 議員

最上豪雨災害の復旧状況と今後は

早期復旧を目指したい

ふるさと納税で地方創生を

地方創生への財源確保に努める

【質問】 ふるさと納税は、返礼品の取り扱いが一部加熱化したことに対し、総務省からの指導などもあり、全国的に下降傾向にあります。

【町長】 ふるさと納税の理念である「地方創生」に結び付けるために「財源確保」としての今後の動向、制度の在り方、また、本町の取り組み方針等について町長に伺います。

厳選された特産品やお礼の品

町ではこれまで町PRや特産品のPR、寄付金の活用報告等に取り組み、多くの寄付をいただいています。特に特産品のお米は、ふるさと納税のポータルサイトで人気の返礼品【米・パン】部門で1位になるなど、生産者の方の努力が評価されたものです。



こんなまちづくりに活用しています

- 子育てを支援するまちづくり
 - 結婚・出産祝い品贈呈事業
 - 舟形放課後わかあゆ塾委託事業
 - 日本一の給食教育推進事業 等
 - 高齢者・小児インフルエンザ 予防接種 等
- 安全で安心なまちづくり
 - 防犯灯整備事業補助金
 - 生活道路整備補助金 等
- 地域の活力あるまちづくり
 - 農業再生対策事業補助金(ニラ等生産支援)
 - 町認定農業者等経営転換支援事業補助金
 - 産地活性化支援事業補助金(ネギ等生産支援)
 - 園芸農業スタートアップ補助金
 - 町資格取得支援事業補助金(国家資格等) 等
- 西ノ前整備への取り組み
 - 「縄文炎祭」実行委員会補助金 等



本町の代表的な返礼品と活用策
(広報ふながた 平成30年2月号抜粋)

4、議会報を通じて欲しい情報は

- ・ 議会で取り上げた議題について、検討した結果やその後どうなったのかという情報（報告）が欲しい。
- ・ 3年5年後舟形町はこうなっているというような、議員さんの目標のようなシリーズが欲しいと思う。
- ・ 町報、議会報どちらでも良いが、今後災害のおそれのある場所に近づかないために、今回の豪雨の災害マップを掲載してはどうか。
- ・ 健康体操教室や講座など、気軽に参加できる体づくりの情報。
- ・ 議会で質疑されていることは、タイムリーに新鮮に町民に提供されなければいけないと思う。常に新しい情報を。

5、議会・町に対する要望、意見等

- ・ 堀内農村改善センターにキッズルームができ、たいへんうれしい。しかし、夏場は扇風機1台のみなので、エアコンがあればより利用しやすくなると思う。
- ・ 質疑応答の内容、研修後の復命と取り組みの内容を、町民へ伝えようとするのが伝わってくる議会だよりだと思う。
- ・ 舟形診療所の継続のため、後任の医師をお願いしたい。冬期間、電車の運休があり、通勤、通学が困難になる。町で臨時バス等検討願いたい。
- ・ 女性議員の誕生を促すような施策をお願いする。
- ・ 今年2回も災害に遭った。災害は仕方ないことだが、人命を守ること、災害復旧等の連携、町民、議会、町が一体となる体制づくりが急務だと思う。

6、その他

- ・ 議会を傍聴したが、傍聴する方の手元に資料があると一層わかりやすく感じると思う。
- ・ 所々に私たちの意見が反映され、改善がみられうれしく思う。
- ・ 最終ページのシリーズ、「えがったなあ」が議会だよりを親しみやすくしてくれる。
- ・ 2Pの補正予算で、産地パワーアップ、縄文の女神フランス展等、どのような内容なのか、カッコ書きの説明があった方が良いのでは。
- ・ 監査意見の字を小さく載せているが、内容を要約して他ページと同じ大きさの字で良いと思う。（収入未済額と滞納繰越を合算した理由が不明。表にもない）
- ・ 議会報の年発行数を増やしてはどうか。年4回を2か月に1回の計6回など。



また、よろしく
お願いします。

数多くのご意見ありがとうございます。
編集委員会で検討して、改善できるところから行なっていきたいと考えています。
引き続き、ご意見をお願いします。

貴重な意見ありがとうございます。

議会報モニターより



舟形町議会では、議会だよりが町民の皆様との結びつきを強めることができるよう、今年度より町内在住の5名の方に議会報モニターを委嘱しています。

今回は、議会だより176号（10月26日発行）に寄せられた意見や感想を掲載しました。今後も十分に参考にし、読まれる、伝えられる広報誌編集に役立てていきます。

1、表紙、見出しについて

- ・ 子どもたちの一生懸命さが伝わるいい写真になっていると思う。
- ・ 災害があったとは思えないくらい元気な子どもたちの表紙で良かった。
- ・ 舞台の照明器具や屋根のパイプはカットして、子どもを大きくした方が良い。正面から撮った写真があれば良かった。
- ・ 舟形町の一大イベントとしての若鮎まつりの写真だが、もう少しイベントが全面に出た写真だと良かった。災害に負けないよりイベントをアピールした方が良いと思う。

2、写真の扱い方

- ・ 10Pの通行不能になった農道がどこなのか、記されてあるとより分かりやすい。
- ・ 堤峰展望場の写真がカラーであった方が、よりよい景観だと思う。
- ・ 屋内の写真が暗い。顔の後ろに窓があればフラッシュが必要。カラーを白黒にする時は、明るさを調整してほしい。
- ・ 関連のある写真の使い方だと思う。特に一般質問の写真が良かったと思う。

3、紙面について

- ・ 読みやすかったです。
- ・ 9Pの質問文と10Pの回答文で①②③などの文は改行して良い。読みやすいし、スペースは余白がまだある。
- ・ 議会活動の紙面が充実していると思う。反対意見などもあり考えさせられることもあった。

今後の最上地域の展望は

最上地域市町村議会議員研修会

(平成30年10月12日)

舟形町中央公民館において、最上総合支庁総務企画部長 高橋浩也氏より「『少子高齢化問題』の観点からみる最上地域の今後20年の課題と展望」、総務企画部総務課連携支援室長 浅沼道生氏より「奥羽・羽越新幹線の整備促進に向けて」と題した講演をいただきました。

どちらの内容も今後の大きな課題であり、とても有意義な研修会となりました。

地域再生を目指して

県町村議会議員研修会

(平成30年10月16日)

山形国際交流プラザにおいて、「限界集落の真実〜人口減少時代における地域再生」と題して、首都大学東京准教授の山下祐介氏より講演をいただきました。限界集落の原因である東京一極集中はなぜ止まらないのかを学びました。また、フジテレビ報道局上席解説委員の平井文夫氏からは、政治・経済の展望についての講演をいただき、大いに刺激を受けました。

これからもこのような研修会を活かし、研鑽を積んでいきたいと思います。



木造校舎の価値を再発見

総務振興常任委員会視察研修

1. 期 日 平成30年10月29日(月)〜30日(火)

2. 調査内容 (現地視察)

3. 場 所 校舎の宿「さんさん館」(南三陸町)

(1) 施設概要

平成11年に、127年の歴史を閉じた林蔭小学校(築47年・木造校舎)を何とか残り有効に生かす方法のひとつとして、グリーン・ツーリズム体験の拠点として活用することを地元の方々は選択しました。校舎の一部を改修し、宿泊32名、食堂32名、研修室40名、地元の人々の交流室などを整備しており、中でも地元のお母さん方が中心となって運営している「ふるさとの味自慢」の食堂は好評のようでした。

また、季節ごとに100種類もの体験メニューを準備しており、地元の方々を講師にした農業・林業体験や志津川浜の人々の協力による海の体験など、南三陸町全体が楽しめる体験宿泊施設です。

(2) 運営

地元有志の呼びかけに卒業生・協力者が立ち上がり、卒業生を中心にアドバイザーとなり「旧林蔭小学校運営事業組合」を結成し運営にあたっています。設立当初、国・県・町から改修のための補助金を受け活用しましたが、設計・オープン・運営・管理は旧林蔭小学校運営事業組合が独自で進めている施設であり、地元の廃校を利用したグリーン・ツーリズムによる地域活性化への意気込みがうかがわれました。



地元のお母さんから詳しく説明を受けました

請願・陳情

12月定例会で審査した請願・陳情は次のとおりです。

●ライドシェアの導入に反対し、安全・安心なタクシーを国に求める請願

継続審査

請願者 一般社団法人山形県ハイヤー協会

会長 石川 康夫

●三光堰(紫山地区)への余水吐並びに排水路整備に向けた陳情

継続審査

請願者 全国自動車交通労働組合連合会 山形地方本部

執行委員長 遠藤 栄一

陳情者 紫山町内会長 八畝 昌幸

議会のつどい

▼10月2日 第4回臨時会

- 議会改革特別委員会
- 三町村議会議員交流会
- 舟形町東京友の会総会
- 議会報編集委員会
- 最上を拓く高規格道路建設促進合同大会

- 12日 最上地域市町村議会議員研修会
- 16日 県町村議会議員研修会
- 19日 議会報編集委員会
- 27日 舟中「舟友祭」
- 28日 舟小「めがみ学習発表会」
- 29日 総務振興常任委員会視察研修 (29日〜30日)

▼11月2日 舟形町自治功労表彰式

- 4日 舟形町芸能フェスティバル
- 12日 最上の地域医療を考える住民のつどい
- 16日 議会運営委員会
- 12月 議会報編集委員会
- 21日 PTA連絡協議会教育懇談会
- 27日 高齢者フェスティバル
- 27日 議会運営委員会
- 27日 議会改革特別委員会

▼12月3日 議会改革特別委員会

- 4日 全員協議会
- 8日 12月定例会(4日〜6日)
- 19日 ほぼえみ保育園発表会
- 20日 総務振興常任委員会所管事務調査
- 20日 議会報編集委員会

紙面の都合上、主な行事を抜粋し、掲載しています。その他、各地区行事等に参加しています。

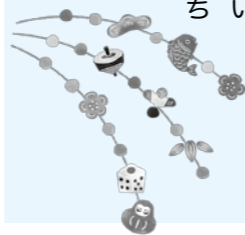
議会だよりモニターを募集

舟形町議会では、議会だよりへのご提言やご意見をいただき、議会だよりが町民の皆様との結びつきを強めることが出来るよう、より一層の充実を図るため、『議会だよりモニター』を募集しています。皆様の応募をお待ちしています。

活動内容	①発行された議会だよりについて意見を述べていただくこと ②議会だよりに関するアンケートに回答していただくこと
任期	委嘱状を交付された日から1年間(4月号発行〜1月号発行まで)
対象	舟形町在住の18歳以上の方
募集定員	5人以内
申込方法	3月末日までに議会事務局へ来庁または電話かメールでお申し込みください。 電話：32-0030(直通) メール：gikai@town.funagata.yamagata.jp

表紙のつどい

1月11日、舟形ほほえみ保育園で、毎年恒例の小正月行事「みずき団子飾り」体験が行われました。
1年の願いを「みずき団子」に込め、元気で楽しい年になるよう、色とりどりの縁起物が飾り付けられました。
平成最後となった「みずき団子飾り」に、子どもたちはおじいちゃんおばあちゃんたちと一緒に真剣に取り組み、大きなだんご木を完成しました。



議会だよりふながたの表紙写真を募集

「議会だよりふながた」を、住民参加型のより身近な広報誌とするため、表紙の写真を募集しています。

■応募方法：写真データを議会事務局へ持参するか電子メールで送付してください。

■問合せ：舟形町議会事務局 32-0030(直通) gikai@town.funagata.yamagata.jp

次回の定例会は 3月6日(水)〜14日(木)までの予定です。皆さまの傍聴をお待ちしております。

シリーズ



今回は、長沢第3の高橋浩登さんと結婚した、尾花沢市出身の千晶(旧姓:佐藤)さんです。
皆さんよろしく申し上げます。

♥どんなきっかけで知り合いましたか?

共通の友人とご飯を食べた時に知り合いました。

♥嫁いできて舟形町での生活はどうですか?

まだ日が浅いので、これからが楽しみです。

♥舟形町の良いところ・悪いところがありますか?

良いところ 自然がいっぱいで落ち着くところ。

悪いところ 今のところありません。

♥舟形町に望むことはありますか?

小さい子でも遊ぶことができる公園や施設(屋内)等があれば、うれしいです。

お願い

「えがったなめ」に出てみませんか。舟形町に嫁いでこられたお嫁さん・お婿さんを募集します。

(連絡先)

舟形町役場議会事務局
☎32-0030 (直通)

声

皆さんの声を掲載する欄です。議会に対するご意見・ご要望等、どうぞお気軽にお寄せくださるようお願いいたします。

私は、新庄から舟形に嫁いで16年になります。子どもは一人5年生で、保育園年中の時に小学校が統合になりました。舟形町は、様々な住宅関連支援や子育て支援が充実していて、子育てにとてもいい環境だと思います。

私が住んでいる洲崎地区には、旧堀内小学校の跡地があり空き地になっています。近所の子どもたちが伸び伸びと遊べる施設があったら、もっと地域の人たちとの交流も増え、地域に溶け込む場が増えると思います。子どもたちが気軽に集まって遊べる場所などの整備をしていただければと思います。議会の皆様には、今後のご活躍と期待を込めてお願い致します。



阿部 美奈 さん
(洲崎)

(議会より)

地域の活性化と、元気づくり
に議会としてバックアップして
いきたいと考えています。

編集後記

新年明けましておめでとう
ございます。

昨年は8月の豪雨災害により甚大な被害が起こり、復旧もいまだ道半ばの状態ですが、今年には完全復旧に向けて全力で取り組んでいかなければならないと思っております。

さて、平成の時代も今年が最後で、5月には新しい元号に変わりますが、町民の皆様にとって今年には災害のない、よい年になるようにお祈りいたします。

議会だよりも新しいことにチャレンジし、見て読んでもらえる紙面づくりに取り組んでいきます。

(小国 浩文記)

発行責任者

議長 八 欽 太
議会広報常任委員会
委員長 佐藤 勇一
副委員長 伊藤 欽一
委員 奥山 謙三
委員 石山 和春
委員 小国 浩文

